



抗がん剤血管外漏出のマニュアルを変更しました

「がん薬物療法に伴う血管外漏出に関する合同ガイドライン 2023年版」の出版に伴い当院の化学療法マニュアルの血管外漏出時の対応について、内容を変更いたしました。内容は下記の通りです。

がん薬物療法に伴う血管外漏出に関する合同ガイドライン 2023年版



変更前	変更後
留置針を抜く時、残留薬液を吸引しながら抜去	そのまま抜去
漏出部位への温罨法の実施	温罨法は中止、冷罨法は続行
漏出部位へのステロイド局注の実施	漏出部位へのステロイド局注は中止 ステロイド外用剤塗布は続行
起壊死性抗がん剤の名称	壊死起因性抗がん剤への名称変更
オキサリプラチンは炎症性抗がん剤に分類される	オキサリプラチンは壊死起因性抗がん剤に分類される

血管外漏出予防方法



逆血の確認

【血管外漏出の患者側要因】

- ・高齢者・糖尿病・抗がん剤歴が長い人は血管が脆弱しているため漏れやすい
- ・点滴刺入部の安静が保てない人（点滴を気にせず動く、脳梗塞後や認知症で安静にできない等）

【対策】

- ・抗がん剤投与前に逆血の確認
- ・壊死起因性抗がん剤の投与中はできるだけ患者のベットサイドにいる
- ・点滴刺入部を動かさないよう患者指導する
- ・抗がん剤投与中のトイレや更衣時は生食ロックを行い、行為後に逆血を確認してから点滴を再開する。